

はにい

授業を問う(3)

平成25年2月14日

以下は、前号の中学校の半日参観メモの続きです。
これも、対話しながら読んでみましょう。

3時間目

○ 英語 2年2組

みんなで歌ったあと、二人で会話練習、そして、またCDをかけてリズムに乗せて発音、と授業の構成のテンポがいい。教師の指示もテンポがいい。

授業の流れを子どもたちが良く把握しているようだ。

歌などは、終わってもまだ歌っている子がいて、楽しそう。

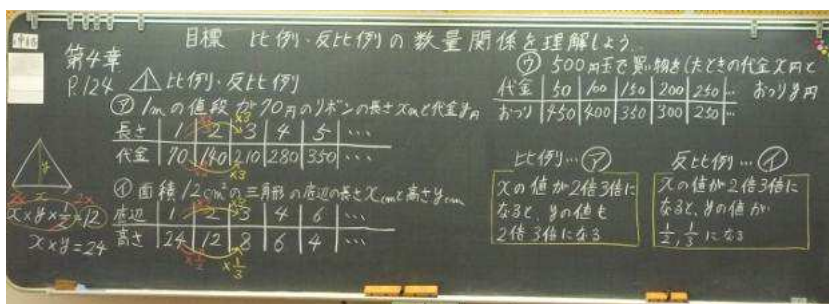


○ 数学 1年4組

今日の目標がしっかりと書かれている。

大きく見やすい板書。まとめもわかりやすい。

ひとつひとつ、子どもを指名して答えさせながら教師が丁寧に解説していく。



子どもたちは良く集中しており、ノートも丁寧に書いている。学習の習慣ができているようだ。

○ 理科 2年4組

ストローなどが全員に用意され、実験しながら、疑問を出させる授業。実験は事前に教師が試してあり、今日は天候の加減で反応が少ないことを予想した中で、手だてを講じていた。準備が丁寧。

C「なんで静電気で紙が浮くの？」

T「さー。なんででしょうね。」

疑問を出させることに徹した授業。

疑問を記録するとか、みんなのナゾを蓄積するとか、ひとつひとつの疑問が「気づき」として残されていく工夫があるといい。学べば学ぶほどなぞは深まる。

教師が楽しんでいる。子どもも楽しそう。



4時間目

○ 家庭 1年7組

教師が A、B、C、3タイプの入社希望者を演じ、面接室に入ってきた、という設定で、子どもたちは自分の決めた業種の長となって採用者を選ぶ。体験的で、考えさせる授業。子どもたちの語った、なぜそのタイプを選んだか、という理由がリアルで面白かった。

ラーメン屋の店長としては威勢のいい A タイプがいい。接客業の社長としては身なりのしっかりした B が良い。私は花屋なので明るいタイプの C がいい。等々、実に面白かった。子どもたちも対話を楽しんでいた。

子どもたちは、第一印象の大切さ、というものを感じたと思う。



○ 数学 1年3組

机間指導も丁寧に行っている。子ども同士で教え合う習慣もできている。

黒板で解答する子も慣れている。

書かれた解答について、教師がその子と対話しながら解説していく。子どもがいつでも質問しやすい環境がある。

教師のそうした受けとる姿勢を子どもはよくわかっていて、教師を信頼している姿がうかがわれた。



全体

ハキハキ話し、のびのび指導している教師が多い。

教師は一人ひとりに丁寧に接し、一時間ごとの授業を大切にしている、ということ子どもたちがよくわかっており、その信頼の中で、授業が成り立っていると感じた。

この日は、一問一答型、教師主導の授業も一部見られた。今この学校では、学校をあげて、生徒の主体的な学びをつくる授業を研究している。



かながわ元気な学校づくり通信 『はにいい』とは、
学校が元気になるように・・・

先生の仕事を受けとる

学校に携わる大人たちがしていることを受けとる

そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる

そんな、コミュニケーションツールです。みんなで語り合しましょう。

専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp